



第120号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



ロザリオの聖母会のこれから

理事長 桑島克子

細瀬哲夫前理事長から法人は先人の思いを受けカトリックの精神で運営して欲しいと引き継ぎました。

小学生のよく分からない時に洗礼の恵みを受け、以来折にふれ示された道を歩んできた私はほんの僅かな周囲の人に「自分がして欲しいと思うことを、あなたたちも他人に行いなさい」との教えの香りが届けば幸いと思っていましたので法人としては、どのような手段で目標に向かっていくか考えあぐねていました。

先日、最近職員が明るくなったと云われました。その理由として、優秀なトップが病で治療には限界があると云われれば誰だって暗くなる。その上、新理事長は法人に入って三年しか経っていないし、いわゆる福祉の分野は不慣れである。自分たちが頑張らねばと各々が仕事に向かっているから、生き生きと輝いているかも知れないと言われました。安心して見守って下さい。

東日本大震災・旭市社会福祉協議会

災害ボランティアセンターの取り組み

旭市社会福祉協議会 前会長 高野丈夫

二〇一一年三月一日14時46分、巨大地震が三陸沖で発生しました。M9の巨大地震でした。旭市でも震度5強の激震であり、16時過ぎの第1波の津波に続いて次々と大きな津波となり17時過ぎの大津波へと続きました。そして、海岸線の集落に大きな被害を及ぼしました。

特に飯岡の海岸地帯では、一部では10メートルという津波が押し寄せた形跡があり、その勢いは一気に海岸線の住宅や樹木、自動車、船や多くの港湾施設、道路や建造物の破壊となりました。

旭市では直ちに住民の避難を指示し、10数ヶ所の避難箇所に約3000人も市民が避難しました。停電、水道の停止、避難用具の不足など、混乱を極めていました。津波による被害は、死者13名、行方不明2名、全壊家屋427棟、半壊335棟、一部損壊1503棟に及んでいました。

ここ数年では、私たちの学習会などで、津波に対する認識を再検

討することを議論していました。

しかし、現実には今回の津波に直結することはできませんでした。

旭市社会福祉協議会では、災害発生の4日目から、千葉県社会福祉協議会、RBの皆さん、日赤防災センターの皆さんなどのアドバースを受けて、旭市災害Vセンターの立ち上げの協議を始めました。

経験のない旭市社会福祉協議会ではスタッフの不足は否めない中で、しかし、何としても立ち上げて、Vの力によって復興に向けて取り組みに当たらなければならぬとの決意で、3月15日に立ち上げの具体的準備に入りました。

旭市から発するもの、県社協から全国に発するもの、V参加の対象地区は千葉県内に限定すること、3月16日に正式に立ち上げて、同時に受け入れを始めました。

今回の旭市災害Vセンターの取り組みに当たっては、平成22年度海匝地域福祉フォーラムで、防災に向けての4回の勉強会が開催されていたことと密接な関係があ

りました。

海匝地域福祉フォーラムでは、関係する匝瑳市、旭市、銚子市に對して、それぞれの防災訓練にあわせて、障害を持つ人や一人で歩行できない高齢者などの参加する内容を加えて欲しいとの要望の申し入れを行いました。

そして、昨年11月12日、千葉県社会福祉協議会と54市町村社会福祉協議会における災害時の相互支援に関する協定締結が行われました。今回の災害に当たってはこの協定が具体的に機能した最初の取り組みとなったことが大事だったと思います。

3月16日、Vセンター立ち上げの日、スナップ片手にヘルメット姿のボランティア参加の皆さんが続々と集結されました。初日は、170名、2日目は305名、4日目には426名と順調に参加者を受け入れることができました。最初の土、日には、1205名、1972名と大量のボランティアの結集となりました。3月31日の

センターの終了日までには、7608名が参加されました。

今回の東日本大震災の被災地域の一つである私たち旭市では、災害時の相互支援に関する協定によって多くの市町村社会福祉協議会から、連日のように職員やVの派遣に協力いただきました。

突然の災害Vセンターの設立から多くの皆さんを受け入れて旭市の災害復旧に当たるといふ実践を経験してきた毎日でしたが、多くの皆さんのご協力によって旭市災害ボランティアセンターは、当初の目的を達成することができました。

一方、災害の避難者は、災害の4日目からは、避難所を4箇所に集約して、そこでの生活に入りました。避難所の生活をサポートする関係者は、行政の職員、ボランティアの人たち、食事の提供をする協力者、医療関係の皆さん等々、精力的に行動に参加して頂きました。

仮設住宅は、200戸の建設が急がれて、災害発生から2カ月が過ぎる頃に完成しました。県立東部図書館南側の仮設住宅は50戸、飯岡社会福祉センター隣の仮設住

宅は150戸が、5月18日に最後の入居者に鍵が渡されて、21日までに新しい仮設住宅への入居が終了しました。3月14日以降続いてきた4箇所の避難所も22日までに閉鎖されて、それぞれの新しい生活が始まりました。

旭市の定例の人事異動も2カ月遅れで6月1日付けに発令されました。旭市社会福祉協議会でも同様の職員異動が行われています。

災害被災者への多くのサポートの取り組みは始まったばかりです。この仮設住宅には、高齢の独居者、高齢者世帯、障害者世帯等も入居されていて、毎日の生活への援助が必要とされています。

東日本大震災の復興に向けての旭市の取り組みは、未だ復興への道半ばと言えます。すべての市民の皆さんのご協力が必要不可欠です。



連帯を力に

— 東日本大震災その後 —

専務理事 野口厚司

平成23年3月11日、午後2時46分頃に発生したマグニチュード9・0の東北地方太平洋沖地震（後に東日本大震災と称されるようになった）と大津波は本会本拠地の旭市にも甚大な被害をもたらし、旭市民が13人死亡、行方不明2人という人的被害に加えて、家屋の被害が全壊320戸、大規模半壊224戸、半壊433戸、一部損壊1981戸に及ぶ惨状となりました（平成23年4月19日旭市ホームページから引用）。その後家屋を失った被災者340人以上が市内4カ所の避難所で不自由な生活を余儀なくされるという事態に至りました。

ロザリオの聖母会では地震発生直後から対策本部を設け、テレビ、ラジオやインターネットからの情報を拠り所に状況判断して利用者の避難等に当たりましたが、津波警報が2メートルから10メートルに変更されるに至って緊張感は一気に高まり、判断に逡巡する瞬間もありました。しかし、幸いにもこの地域は被災を免れることがで

き、患者さんが倉庫に雑魚寝で一夜を過ごしたり、家庭と連絡がとれず帰宅できない通所者が法人内宿舎に宿泊したりするなどの非常事態には陥ったものの、人的被害が全くなかったことは不幸中の幸いだったと思います。また、香取市が地震直後から停電になったため、佐原聖家族園と連絡がとれたのは翌日の昼頃という状況でした。

一方、建物や設備に対する被害は甚大なものがあり、液状化現象による建物傾斜・沈下、駐車場・私道の陥没、地中給排水管の損壊によるライフラインの停止等の被害が深刻で、中でも浄化槽損壊による排水機能停止の影響は大きく、建設現場用の仮設トイレを15台借用して凌ぐという状態が3月末日まで続きました。

このように震災当初はライフラインの復旧を最優先課題と考えて活動し、日に日に日常レベルへ回復する施設・事業所が増えていきましたが、一部の施設・事業所では浄化槽そのものが破壊されて修

復が困難なところもあり、震災後三ヶ月を経た今もなお復旧作業は継続しています。

次に、被害の大きい木造建物（ひまわり、本部、旧グループホーム支援センター事務所、職員寮等）の復旧は、根本的な改修に多大な時間と資金を要するほどの損傷であるため、暫定的な修理に止まざるを得ない状況になっています。

しかし、震災後一ヶ月ほど経過した4月中旬に、行政から補助金（社会福祉施設等災害復旧費補助金）適用の知らせが届き、社会福祉施設の改修、復旧は国庫補助金により可能であることが明らかになったため、浄化槽の新設も含めた復旧の目途が立ちそうな状況になってきています。ちなみに平成23年4月18日付で提出した社会福祉施設災害復旧費補助金協議書に計上した法人費用総額は、対象施設・事業所分が1億7千万円、対象外も含めると2億6千5百万円という巨額なものになりました。

いずれにしても、後世に語り継がれる歴史的な巨大地震と大津波、加えて原発事故という二重、三重の大惨禍に当事者として直面して

第22回ロザリオ福祉まつり

日時 9月25日(日)

午前10時〜午後2時

場所 ロザリオの聖母会

バザー、模擬店、催し物、ふわちゅーちゅートレイン、ふれあい動物園、福引きそして魚のつかみ取りなどなど、あふれんばかりの楽しさで、毎年ご好評を頂いています。

今年も大いに盛り上げようと、

障害者・家族・ボランティア・職員が一丸となって頑張っています。

△お願い▽

- ①バザー品の提供
- ②バンド、大道芸人などの参加
- ③ボランティア協力

連絡先 福祉まつり事務局

0479(60)0600

行事予定

- 23. 7. 2 ちば地域福祉塾
- 5 平成22年度入職者研修会
- 5~7 新採用職員研修会
- 6 経営会議、総合安全対策委員会
- 7 地元説明会
- 8 クリーンデー
- 12 平成21年度入職者研修会
- 13 経営会議
- 19 平成20年度入職者研修会
- 20 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 26 平成23年度入職者研修会
- 27 理事会、評議員会、平成19年度入職者研修会
- 28 人事考課制度研修会
- 8. 3 総合安全対策委員会
- 25 人事考課制度研修会
- 27 ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 9. 1 平成23年度合同防災訓練
- 3 ちば地域福祉塾
- 6 師長・主任・副主任全体研修会
- 7 経営会議、総合安全対策委員会
- 9 クリーンデー
- 14 経営会議
- 17 ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 21 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 22 人事考課制度研修会
- 25 第22回ロザリオ福祉まつり
- 28 理事会
- 10. 1 秋季人事考課
- 4 平成22年度入職者研修会
- 5 創立記念日行事、経営会議、総合安全対策委員会
- 11 平成21年度入職者研修会
- 12 経営会議
- 14 クリーンデー
- 18 平成20年度入職者研修会
- 19 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 25 平成19年度入職者研修会

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

本誌のバックナンバーをロザリオウェブサイトを(<http://www.rosario.jp>)に掲載しています。

医療 療養施設

自立訓練(生活訓練・就労継続支援B型事業所)

地域生活支援センター

友の会の施設

重症心身障害児施設

聖母通園センター

障害児デイサービス

ふたば保育園

地域生活支援センター

障害者支援施設

知的障害者更生施設

聖マリア

聖家族

障がい者の就労促進事業所

みんなの家

障害者就業・生活支援センター

東総就業センター

生活介護事業所

聖家族作業所

共同生活介護・共同生活援助事業所

グループホーム支援センター

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

通所介護・介護予防通所事業所

デイサービスセンター・ローザ

中核地域生活支援センター

旭市相談支援事業

旭障害者支援センター

知的障害者更生施設

佐原聖家族園

重症心身障害児通園施設

つどいの家

共同生活介護・共同生活援助事業所

ケアホーム香取・グループホーム香取

香取市相談支援事業

香取障害者支援センター

障害者就業・生活支援センター

香取就業センター

香取就業センター

香取就業センター

香取就業センター

香取就業センター

香取就業センター